

農業まつり 10月14・15日

じゃんけん大会でなるシカくんとちよリス (JAバンク) が夢の共演!?



2017  
No.30

平成29年11月1日発行

- 9月定例会**
- 歳出総額**26億5505万円を認定** (平成28年度決算) ..... P2~5
  - 一般会計補正**7299万円** ..... P6~8
  - **なるさわクリニック開院にかかる補助金などを可決** など
  - 委員会活動「現場の声」を吸い上げ **存続が危ぶまれる 村の伝統芸能** ..... P9
  - 議員研修「病児保育・病後児保育について」「議会基本条例と議会改革」 .. P10
  - 一般質問 **村政を問う!!** [4議員が登壇] ..... P11~12
  - **村長へ要望書を提出**... ..... P13
  - 村民の声「飲食店で地域に貢献し、全国に情報発信を」 ..... P14

# 村の長期総合計画が 策定される!!

## むらづくりはどう活かされたか？

### ● 全会計を審査 ●

定例会開会日に予算決算常任委員会へ付託された「平成28年度決算認定」について、2日間にわたり委員会を開催した結果、いずれも賛成全員にて原案のとおり認定すべきものと決しました。

平成28年度は、村の将来像とそれを実現するための施策をまとめた「鳴沢村第5次長期総合計画」の策定など、様々な事業が実施されました。

(詳細はP4～5に掲載)



### ● 監査委員意見要旨 ●

監査委員 梶原 先勝・渡邊 明雄

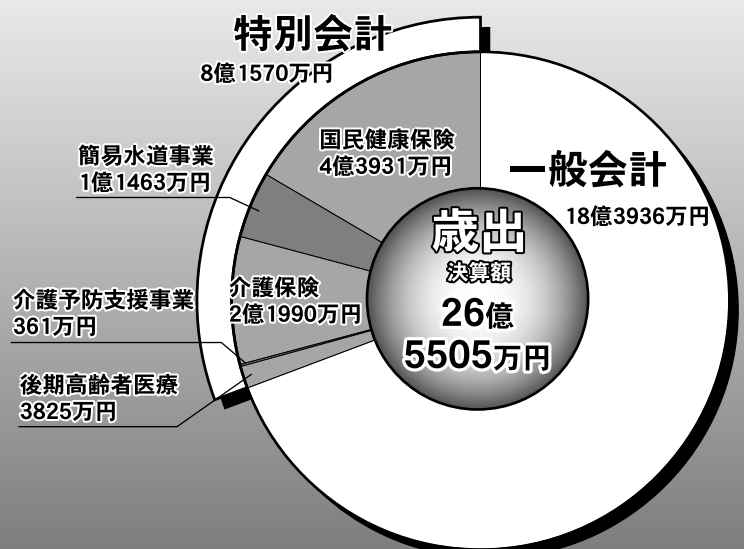
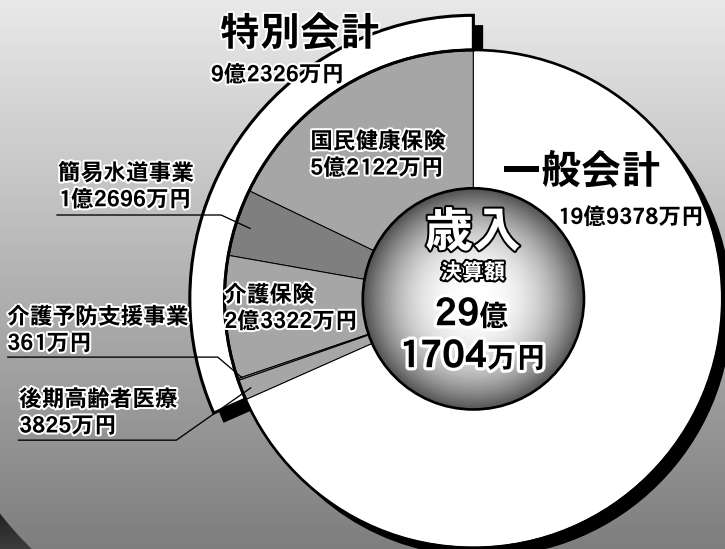
#### 決算の諸計数は正確であることを確認

近年は社会保障費などが増加する一方で、村税収入をはじめとする経常一般財源が減少傾向にあったが、平成27年度に増加へと転じ、平成28年度も村税収入が大幅に増加するなど、明るい兆しもみられる。

しかし、このような状況が今後も続くかは不透明である。今後も全職員が危機意識をもって更なる経費節減を行い、適正な事務執行に努め、村民の暮らしと安全を守り、住みたい鳴沢村、住んで良かった鳴沢村のために、全職員が一丸となって邁進まいしんされることを望む。

## 一般会計・特別会計決算額

(万円以下四捨五入)



# 平成28年度決算

## 歳出総額26億5505万円を

# 認定

### 決算審査のおもな議論

#### 保育所運動会の音響設備

**問（佐藤博水）** 保育所運営事業のなかで音響設備を一式購入しているが、運動会で使用している音響設備も含まれるか。運動会の音響は聞きづらいという声を聞くが。

**答（住民課長）** 保育所の開園時から使用していたスピーカーなどの入れ替えであり、含まれていない。

運動会の音響については、室内なのでどうしても音が反響するが、いろいろ試験した結果、現状の設備を使用するのが最良であるという結論に至った。

#### 法人信用調査業務

**問（小林利雄）** 法人信用調査業務委託とはどのような内容か。

**答（総務課長）** 日本広販跡地において開発を希望する企業があり、その企業について詳細を確認する必要があると判断したため、帝国データバンクに調査を委託したものである。

#### 遊学館等の蔵書の管理

**問（三浦直樹）** 中央公民館と遊学館で合計216冊図書を購入しているが、管理はどのようにしているか。子どもたちもまわりを飛び回るため、ほこりなどもかなり溜まると思われるが。

**答（教育長）** 古い本は順次更新し、子どもたちからの要望になるべく応じるよう、管理人と

相談し図書を購入して入れ替えている。子どもたちへの指導についても、あらためて管理人にお願いしていく。

#### 保育所運営について

**問（佐藤博水）** 3歳未満児やきめ細やかな支援を必要とする園児が増加傾向にあり、それに柔軟に対応していくことやそれに伴う保育士確保が重要課題とあるが、現状ではどのような対応を検討しているか。

**答（住民課長）** 県の条例で、乳児については3人に1人以上、1歳以上3歳未満については6人に1人以上の保育士を配置することが定められているが、代替職員や短時間勤務の職員などを配置することにより現状ではうまく賄えている。

※15件の質疑がありましたが、そのうち4件を掲載しています。

村当局には、事業を実施してただ終わるのではなく、事業の目的を明確にして実績や成果を把握し、課題・問題点を抽出したうえで次年度以降の計画に活かすというサイクルを確立し、村民の福祉向上に寄与するよう求めました。



# 平成28年度は

# こんな事業が行われました！

(万円以下四捨五入)



総合開発審議会で掲載内容を協議

291万円

## 鳴沢村 第5次長期総合計画を策定

村のめざす将来像と、将来の目標を明らかにし、これらを実現するための具体的な施策の大綱を示した「鳴沢村第5次長期総合計画」が策定されました。  
平成27年度に策定された「総合戦略」とあわせ、人口減少社会に立ち向かう生き活きとした鳴沢村の村づくりの基礎となります。

※総合計画・総合戦略はともに村ホームページでご覧いただけます。



昨年4月に行われた開通記念式典

## 鳴沢・精進湖・ 本栖湖周遊バスが開通

141万円

河口湖駅から、これまでバス路線が通っていなかった山梨赤十字病院、フォレストモール、道の駅なるさわなどを経由する周遊バスが開通いたしました。  
主に観光客の利用を目的としていますが、生活路線バスとしての利用も可能ですので、活用してみたいかがでしょうか。



新しい遊具で元気に遊ぶ児童

1446万円

## 小学校に複合遊具を新設

安全基準に基づき老朽化した遊具を取り壊し、新たな複合遊具が小学校に設置されました。  
我先にと、新しい遊具で毎日元気に遊ぶ子どもたちの楽しそうな声が鳴り響いています。



本年5月実施の現地視察にて

## 東京2020オリンピック・ パラリンピックの事前合宿誘致

24万円

事前合宿誘致事業が富士河口湖町と共同で進められ、28年度にはフランスのトリアスロン連盟と誘致に係る覚え書きが締結されました。  
現在は基本協定書(7月11日付)も締結され、今後も受け入れに向けて取り組みが続けられます。





綺麗に改築された植木販売所

## 道の駅なるさわの 781万円 植木販売所を移設・改築

鳴沢村における富士山のビュースポットのひとつである道の駅なるさわの景観の改善のため、老朽化した植木販売所の移設及び改築工事が実施されました。

場所を東方向に移したことにより、道の駅内の世界遺産記念モニュメントや展望台からの眺望が改善され、建物も新しく綺麗になり利用者の増加も期待されます。



自然の景観に配慮した公衆トイレ

## 一本木登山口に 1557万円 トイレと駐車場を新設

鳴沢村の観光資源である東海自然歩道に訪れた観光客の利便性向上のために、県の補助金を活用して一本木登山口に公衆用トイレと駐車場が整備されました。

維持管理は村で行われ、東海自然歩道の魅力アップが図られます。

(富士の国やまなし観光振興施設整備費補助金：675万円)



南棟の全教室と廊下にフィルムを加工

## 教室の窓ガラスに 110万円 飛散防止フィルム加工

地震などの際に児童の安全を確保すべく、小学校の教室の窓ガラスに飛散防止フィルムの貼り付け工事が実施されました。

これにより、割れたガラスによる怪我を未然に防ぐことができます。



高校生も助成対象に

## 子ども医療費 73万円 助成対象が18歳までに拡大

子育て支援の一環として、子どもにかかる医療費の助成対象年齢の上限が、15歳から18歳へ引き上げられました。

※窓口無料の対応ができない医療機関等の場合は、役場に医療費の償還払い請求をしてください。

## なるさわクリニック開院に かかる補助金などを可決

今定例会では、平成28年度の決算認定や財政健全化判断比率などの報告をはじめ、補正予算、条例改正、人事案件のほか、議会へ提出された請願の採択、国への意見書提出など合計9議案が提案され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

鳴沢クリニックの開院にかかる補助金も可決され、念願の診療所が完成いたしました。また、会期中には病児保育・病後児保育についての研修や議員のスキルアップ研修(詳細はP10)などを行ったほか、前年度の決算審査を踏まえて、

議会から村長へ提案する「政策提言・要望」の協議も行いました。(詳細はP13)

最終日には一般質問に4名の議員が登壇し、新制度導入後の農業委員会への支援策や獣害防護柵の管理、人間ドックの受診状況など、さまざまな角度から村の姿勢を問いました。

(詳細はP11・12に掲載)



10月2日に開院したなるさわクリニックの待合室

## 補正予算

### 一般会計 7299万円を追加し、 予算総額は19億6223万円に

#### おもな使いみち

●保健衛生行政諸費 (開業医誘致事業補助金)	6000万円
●総務行政諸費 (特定個人情報取扱点検業務委託)	270万円
●道の駅なるさわ運営事業 (防犯カメラ2台増設など)	250万円
●保健センター運営事業 (2階会議室暖房機2基新設)	155万円
●次世代育成支援対策事業 (第3子出産祝金5名分)	150万円
●教育行政諸費 (教員住宅修繕など)	114万円

●村道改良事業 (用地補償料)	100万円
●国民年金行政諸費 (年金報告書システム改修費)	91万円
●有害鳥獣対策事業 (捕獲用箱わな5基)	59万円

#### おもな財源

●繰越金 純繰越金	7139万円
●国庫支出金 国民年金事務取扱交付金	91万円

### 国民健康医保険特別会計 31万円を追加し、 予算総額は5億40万円に

#### 使いみち

●国民健康保険運営事務諸費 (国保連合会連係データファイル作成対応委託費)	21万円
●前期高齢者納付金	10万円

#### 財源

●繰越金 純繰越金	31万円
--------------	------

(万円以下四捨五入)

## 報告事項

### 引き続き、村の財政は「良好」です 平成28年度 普通会計財政健全化判断比率

- 実質赤字比率  
- 11.00% (早期健全化基準 15%)  
普通会計における、実質赤字の標準財政規模(標準的な収入額)に対する比率です。
- 連結実質赤字比率  
- 18.62% (早期健全化基準 20%)  
すべての会計における、実質赤字の標準財政規模に対する比率です。
- 実質公債費比率  
- 2.50% (早期健全化基準 25%)

公債費(借金の返済額)や、これに準じる額の標準財政規模に対する比率です。

- 将来負担比率  
- 296.80% (早期健全化基準350%)  
将来負担すべき額の標準財政規模に対する比率です。

健全化判断比率のうち、1つでも早期健全化基準を超えた場合は「財政健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません。本村はいずれの数値も良好です。

### 平成28年度 水道事業会計資金不足比率

水道事業会計(簡易水道事業)の資金不足比率も同様に報告されました。  
資金不足比率とは、資金不足額の事業の規模に対する比率で、資金不足比

率が経営健全化基準を超えた場合は「経営健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません。本村は赤字がないため良好な状態にあります。

## 条例改正など

### 配偶者や世帯員も過料の対象になります

#### 鳴沢村介護保険条例の一部を改正する条例を定める件

第二号被保険者の配偶者やその世帯員に対しても、文書等の提出命令に従わず、当

該職員の質問に虚偽の答弁をした場合に、過料を科することができるようになりました。

## 人事

公平委員会(※)委員の小林茂樹氏が9月30日で任期満了となるため、次の方の選任に同意しました。



小林 茂樹 氏  
(鳴沢1組)【再任】

任期は4年間となります。

#### ※公平委員会

職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し、これについて必要な措置を講ずる行政委員会。

## 意見書を県へ提出

### 「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願」を採択し、意見書を提出

- 請 願 者 南都留地区PTA協議会 会長 井上 貴文 ほか3団体
- 紹 介 議 員 小林 昭一
- 議 案 提 出 者 小林 昭一
- 意 見 書 提 出 先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

〈意見書要旨〉

- 1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下の学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。
- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。



鳴沢小学校での授業